

1 DNPグループの価値創造ストーリー

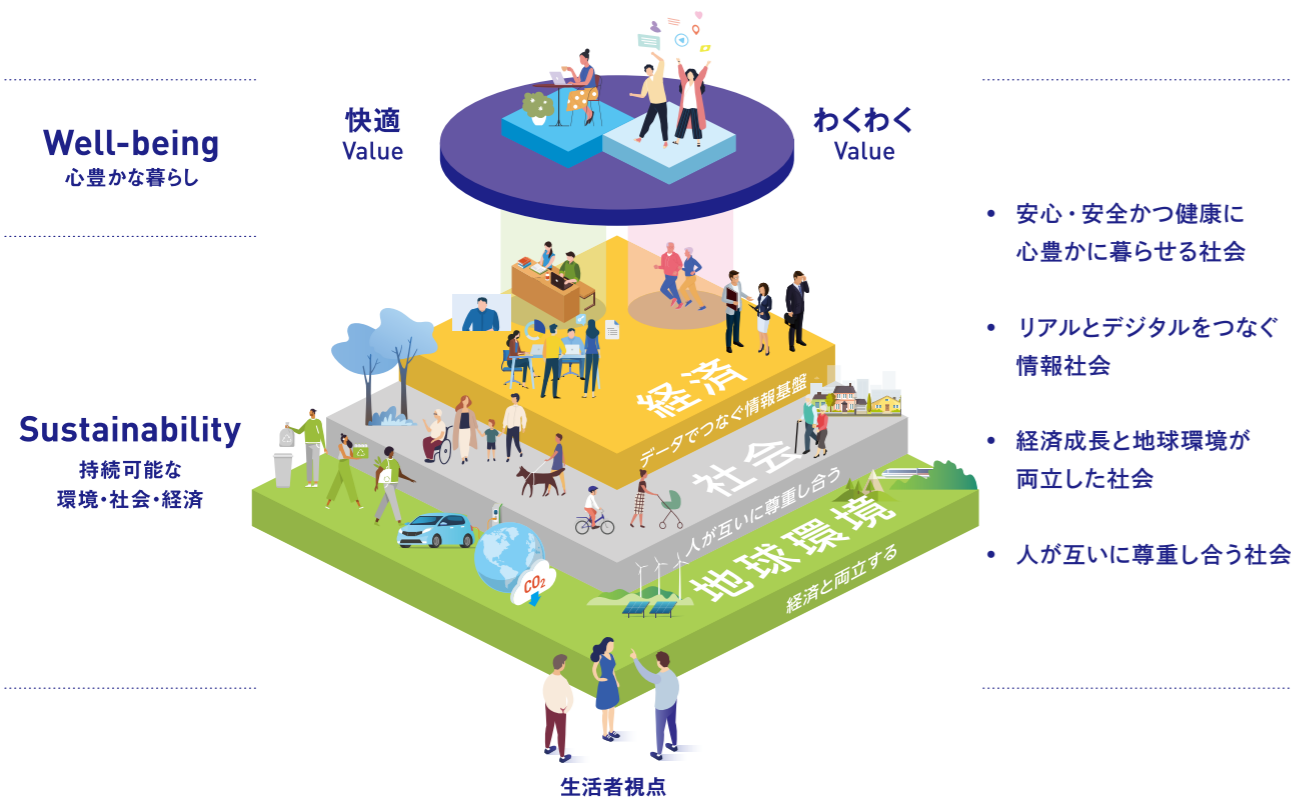
マテリアリティの特定

DNPは、健全な社会と経済、快適で心豊かな人々の暮らしは、サステナブルな地球の上でこそ成り立つと捉えています。DNPがめざす「より良い未来」の実現に向けて、社会とDNPがともに持続的に成長するための重要課題（マテリアリティ）を特定していきます。

マテリアリティの特定にあたっては、社会課題の網羅的な把握、DNPが事業活動を行う上での中・長期的なリスク（変動要素）の特定・評価、DNPと社会・ステークホルダーにとって重要性の高い社会課題の特定と優先順位付けを行っています。

また、価値の創出とそれを支える経営基盤の強化に向けて、「CSRマネジメント重点テーマ」（P62-63）を選定し、サプライチェーン全体におけるマネジメントの強化を進めています。

DNPがめざす「より良い未来」



マテリアリティの特定プロセス

社会課題の把握	<p>市場の変化やメガトレンド、各ステークホルダーにおける重要性、SDGsやGRIスタンダード、ESG社会評価項目などの国際的枠組み等から社会課題を網羅的に把握。</p> <p>関係するステークホルダー 社員、地域社会、ビジネスパートナー、株主・機関投資家、教育・研究機関、NPO・NGO・各種団体 など</p> <p>考慮する国際的枠組み SDGs、GRIスタンダード、国連グローバル・コンパクト、SASB、国連ビジネスと人権に関する指導原則 など</p>
社会課題の特定・優先付け	<p>企業理念・事業戦略との関連性、短・中・長期的なリスクと機会の特定、経営への影響評価により、DNPと社会・ステークホルダーにとって重要性の高い社会課題を特定し、優先順位付けを実施。</p>
マテリアリティの特定	<p>社内関連部門、外部有識者、社外役員との意見交換を実施。サステナビリティ推進委員会、経営会議、取締役会での議論・承認を経て、DNPにおけるマテリアリティを特定。</p>

DNPの事業活動に関連深いリスク（変動要素）の把握・分析

経済関連のリスク

各国・地域とグローバルな市場における経済活動の短期および中長期の変動要素

- ビジネスモデル／技術／製品・サービス等の開発の加速
- デジタルトランスフォーメーション（DX）やグローバルネットワーク等の加速
- 各種経済指標の急激な変動（国内外の景気・業界動向・消費意欲・物価・為替・GDP他）
- 世界経済の地政学的要因によるバランスの変化や分断化 など

経済活動の基盤となる制度や市場動向の変動要素

- 資本主義の見直し、バーチャルな経済圏の確立等による金融インフラの変動
- 情報インフラ関連の変動（GDPR等各種ルール・規制の強化／緩和、情報セキュリティへの脅威他）
- 天然資源の枯渇、エネルギー・資源の供給不足や制限、価格の高騰 など

社会関連のリスク

人的資本と人権に関する変動要素

- 少子高齢化や労働力不足、雇用の流動化の加速
- 多様な社会で生きる多様な人々の尊厳に関する課題の変化
- あらゆる人が心地よく生きるための諸条件の変化（心身の健康・安全・衛生他）
- サプライチェーン全体における人権リスク対応の重要性の高まり など

健全な社会の構築に向けた制度や市場動向の変動要素

- 各国・地域の法制度・政治制度の変更、サプライチェーン上のリスク対応の強化
- 地政学的リスク／カントリーリスクの拡大
- 文化や制度・ルールの違いによる各種リスクの顕在化 など

環境関連のリスク

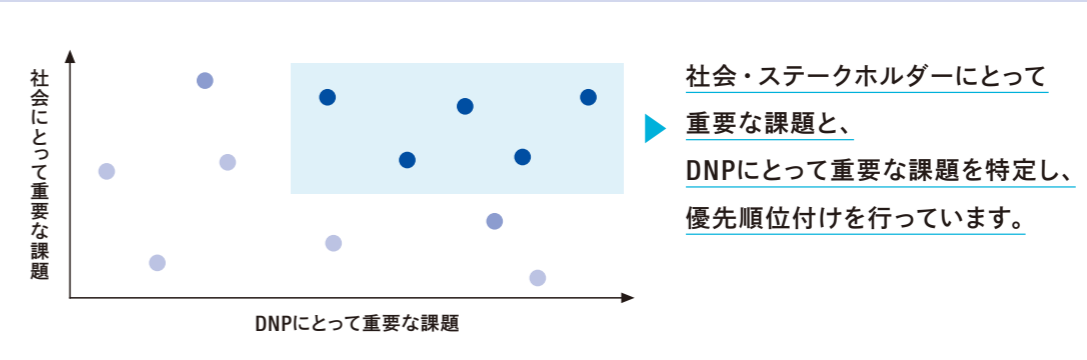
あらゆる企業活動の土台となる地球環境の持続可能性に関連する変動要素

- 気候変動による自然災害の頻発・激甚化、渇水や洪水等の水リスクの高まり
- プラスチック汚染や生物多様性の損失の加速 など

地球環境保全に関連した制度や市場動向の変動要素

- 気候変動リスクや自然関連情報等の開示の強化、グローバル化
- GHG排出量の規制強化、エネルギー関連施策の見直し、循環経済への移行の加速
- 環境ポジティブな製品・サービスの市場拡大、技術革新の加速 など

課題の優先付け



DNPの価値創造プロセス

「未来のあたりまえをつくる。」というブランドステートメントを掲げるDNPには、未来をより良いものにしていく使命があります。その使命を果たすため、環境・社会・経済の変化や課題を的確に把握・分析し、世界の人々が期待する未来の姿を描き出して、そこにあたりまえに存在している、欠かせない価値を生み出し続けていきます。

DNPグループは、国内外の企業・団体・生活者等から信頼されて預かる正当かつ重要な情報等と、多様な経営資源をインプットとしてビジネスモデルを回し、製品・サービス等のアウトプットが生み出す価値（アウトカム）を最適な相手に届けていきます。そうした実績を重ね、環境・社会・経済に対する良い影響（インパクト）を与え続けることで、持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしを実現していきます。

リスクと事業機会 / インプット / 経営資源

事業戦略 / ビジネスモデル /

アウトプット：製品・サービス

アウトカム / インパクト
人々にとっての価値 / 環境・社会・経済への影響

「DNPが解決する社会課題」

Social Issues & Megatrends



インプット（経営資源）

国内外の企業・団体・生活者等との間に構築してきた強固な信頼関係と、高度な情報セキュリティ基盤のもと、各種コンテンツ（文字・画像・動画・音声）や機密情報・重要情報を活用

- 経営基盤であるDNPグループの多様な強み・資産を掛け合わせて、新しい価値の創出へ
- 財務資本・非財務資本の統合的な活用
- 企業活動を通じて、成長投資の原資を創出



ビジネスモデル

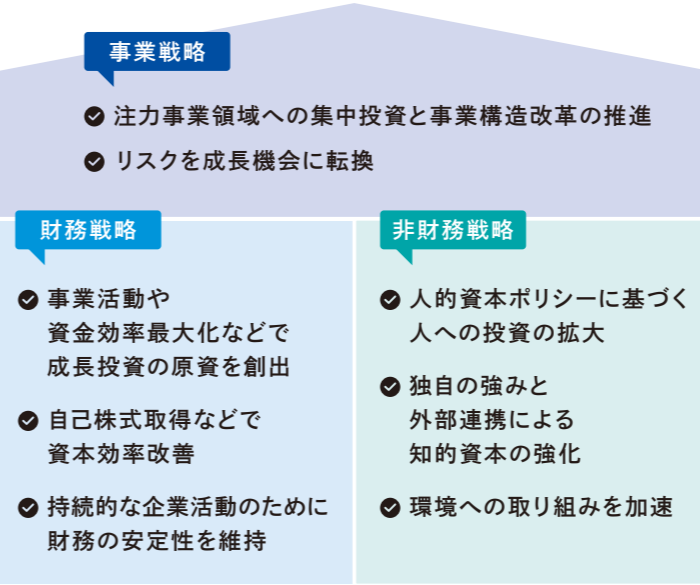
DNPグループは、サステナブルな社会の実現をめざし、企業理念に「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」ことを掲げています。この理念に基づき、持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしを実現するために、長期を見据えて、DNP自身がより良い未来をつくり出すための事業活動を展開しています。



新しい価値の創出

持続的な事業価値・株主価値の創出を行い、

DNPグループは ROE10%を目標に掲げ、PBR1.0倍超の早期実現を目指します。



DNPがめざす「より良い未来」

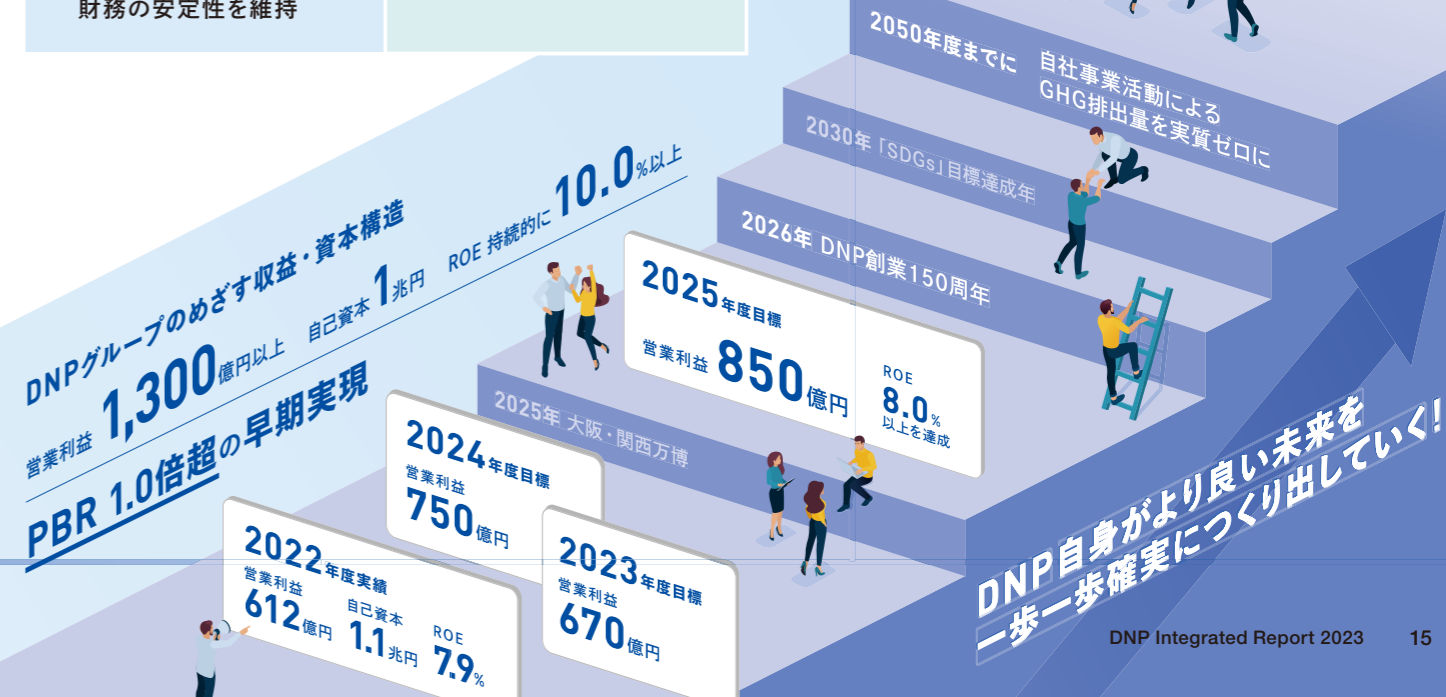
ブランドステートメント

未来のあたりまえをつくる。

Well-being
心豊かな暮らし



Sustainability
持続可能なより良い社会



技術をはじめとするDNPの強み

多様な強みの掛け合わせによる新しい価値の創出

DNPは、印刷プロセスに立脚する微細加工/精密塗工/後加工の技術と、企画・設計/情報処理/材料開発/評価・解析の技術を常に最先端のものに磨き、営業・企画・製造・管理等の強みと掛け合わせて新しい価値をつくり出していきます。

特にDXの推進に対しては、アナログとデジタル、リアルとバーチャル、モノづくりとサービスなど、DNPならではのハイブリッドな強みを活かしていきます。(P54-55参照)

また、価値創出のスピードを上げていくため、社外の多様なパートナーとの連携も強化していきます。こうした強みの掛け合わせのパターンは無限にあり、より良い未来を実現していくため、多くの可能性を追求していきます。

印刷(Printing)と情報(Information)をともに進化させてきたDNPの強みは他者にはない独自のものです。「オールDNP」で総合力を発揮していくことで、人と社会に欠かせない、これまでにない価値を創出していきます。

① P&I技術などの強み



② 新しい価値を生み出す力

先を読み、自社技術を活用して創出した価値をスピーディに全世界に提供



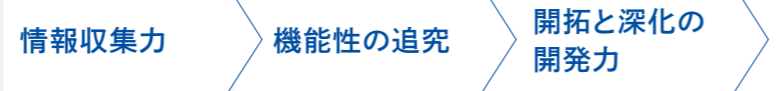
将来性を見抜く先見性
10年先と足元の二つの視点で
製品・サービスを開発

自社の技術を活用し、
別の用途に転換する力

国内で確立した
事業モデルを
グローバルに展開

③ 印刷事業で培った基盤

機能性の高い製品・サービス群、取引先・顧客との信頼関係

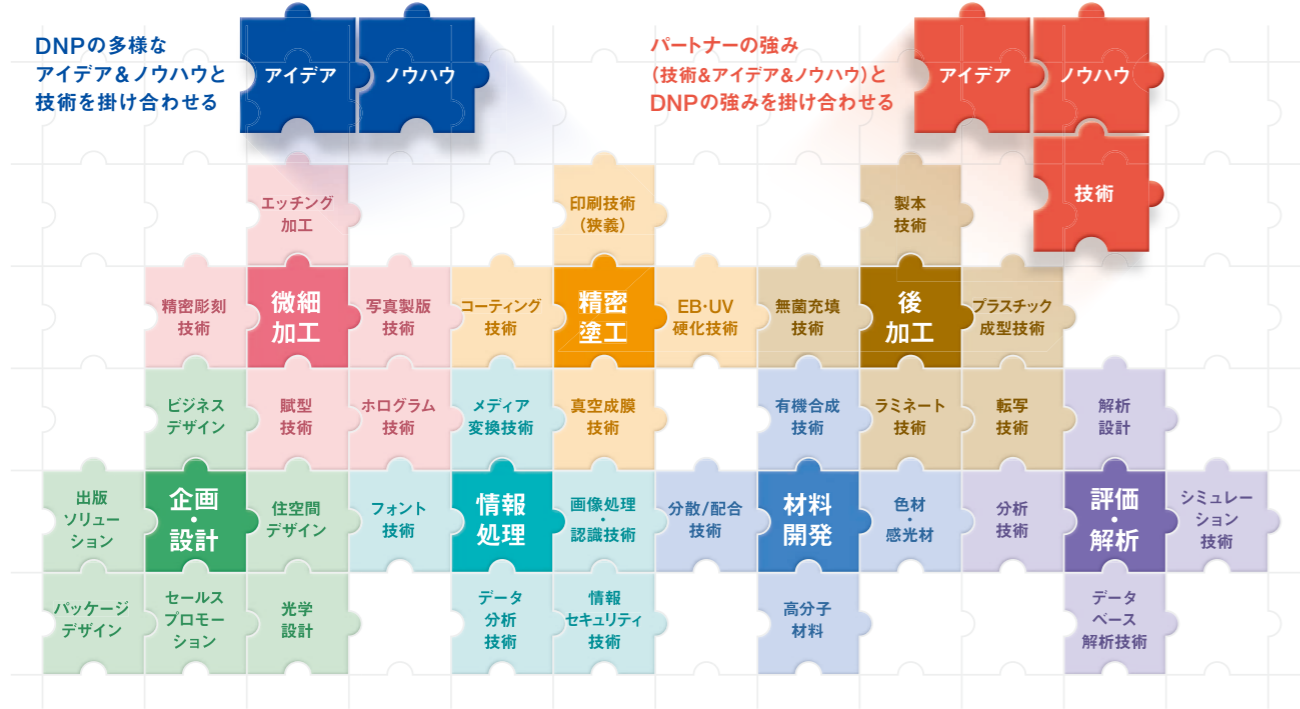


数万社もの取引先・
顧客との信頼関係と、
そこから得る有効な情報

印刷プロセスで培った
技術を基盤に、新たな
機能性と価値を創出

「開拓」と「深化」の反復により、
広範な事業領域を形成

④ DNPが保有する「P&I」の技術



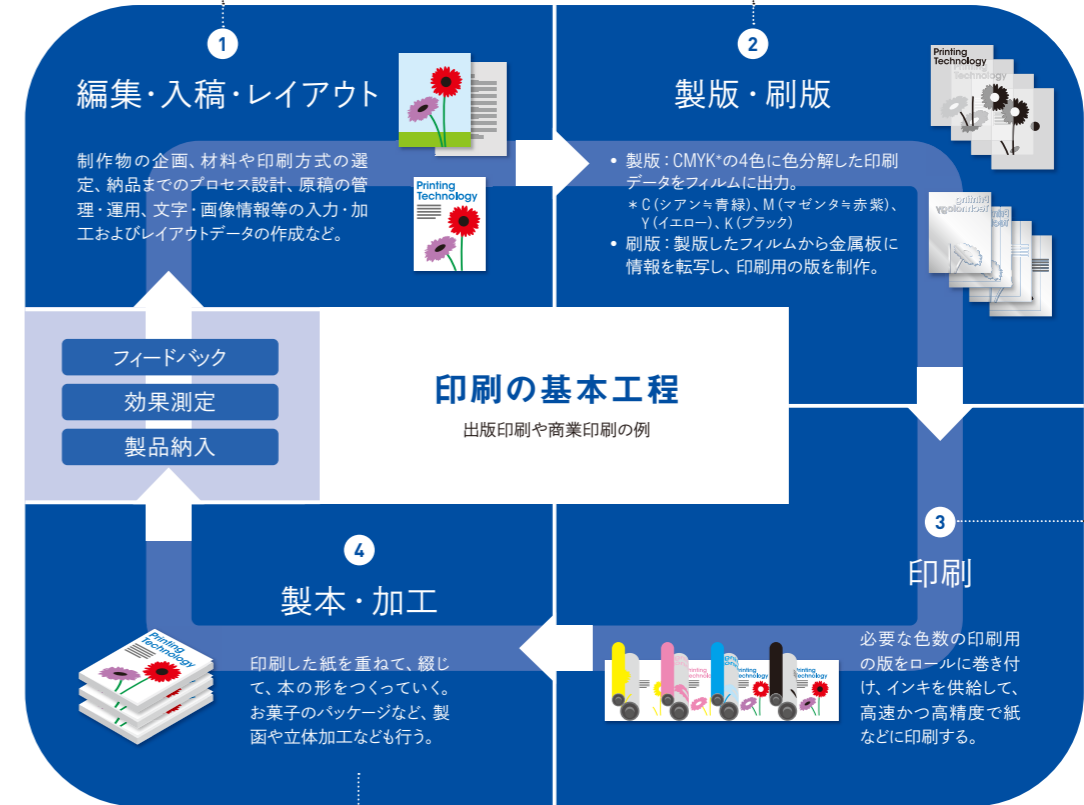
印刷プロセスで培った技術



めざすアウトプットに適したプロセスを企画・設計します。DNPは大量の文字・静止画・動画・音声等の情報を常に扱っており、データフォーマットや色調を整え、加工や保管も行います。大容量データを安全かつ適切に取り扱うノウハウを高め、各種重要情報の加工・解析、セキュリティ技術へと拡げています。

印刷されたインクの網点が肉眼で識別しにくいように、印刷プロセスでは非常に微細な加工を施しています。この技術を発展させて、金属やガラス、樹脂などの基材に対する微細な加工を可能にしました。最先端のエレクトロニクス製品の数々や、ホログラムなどによる偽造防止・セキュリティ分野などに活用しています。

紙だけでなく、プラスチックフィルムや金属・ガラスなどの基材表面に、単層または多層で、さまざまな特性を持った材料の塗布膜を均質・均一に形成する技術です。光学特性、バリア性、耐熱性など、多様な機能を付与できるため、包装材や生活空間製品のほか、写真プリント用部材や電池用部材、光学フィルムなどに広く応用、展開しています。



印刷後の製本など、各種加工を施す工程から派生した技術群です。最終製品の使用目的に合わせ、使い勝手のよいカタチに整える技術で、型抜きや組み立てなどの立体加工にも優れています。食品・飲料・日用品等のパッケージや、内容物の無菌充填等のシステム開発、各種製品の検査・計測・解析などにつながっています。



新たな材料を合成あるいは分散・混合して、インキや接着剤、感光性材料、コーティング材料などを設計・製造する技術です。印刷精度が緻密化し、製品が高機能化・多様化するなかで最大の効果を得るため、DNPは材料から開発しています。



製造プロセスを解析し、品質の安定化や生産性の向上、作業環境の改善などにつながる技術です。最新のセンシング技術と理論を組み合わせて、製品のクオリティを左右する材料・工程の特定、機能・性能を発現させるメカニズムの解明などを行っています。